

今年の頑張りに胸を張ろう！！

校長 松本 雅史

1～5年生にとって、いよいよ今日で今の学年、学級が最後になります。6年生は、来週の月曜日が卒業式です。今年は、皆さんにとってどんな1年でしたか。



本年度、プロ野球のアメリカ大リーグで活躍している大谷翔平選手が、シーズン44本のホームランを放ち見事ホームラン王になり、ピッチャーとしても大活躍

しました。そして、大リーグでその年に一番活躍したと認められる選手におくられる「MVP」を受賞しました。大谷選手からグローブをプレゼントしていただいて、みんなも楽しませていただきました。



5月から、コロナが5類に移行し、学びや日常の生活でのマスクの着用が、個人の判断になりました。そうした中、運動会を元気一杯、行うことができました。玉入れやダンス、綱引き、よさこい、ムカデ競走、組み体操と、思いっきり体を動かして、応援も声の限りに頑張って、運動会を楽しみましたね。

そして、秋には音楽会を開催しました。一人一人が自分の出せる最高の音を出すこと、みんなで気持ちを合わせることで一人一人の力が足し算ではなく、何倍にもなって感動を広げました。6年生は、連合音楽会にも参加し、素晴らしい演奏を披露しました。

そして、5年生は八ヶ岳方面、6年生は日光・尾瀬方面に移動教室に行きました。本当に楽しく、見事に集団生活をつくりあげました。校長先生にとって、忘れられない思い出のひとつとなっています。

そして、「もったいない」や「エコ」、「豊かな生き方」について学びました。今、地球は気候がどんどんおかしくなって、このままでは大変なことになってしまいそうです。何とかストップできないか、自分たちにできることはないかと、真剣に学びをすすめましたね。

捨ててしまうようなものを工作の材料に集めた「おたからコーナー」や「環境やみんなのために頑張っている人との出会いのまち探検」「白くまくんを助ける温暖化防止の取組」「段ボールコンポスト」「Tシャツエコバッグ」「スーパーマーケットで食品ロスを減らすポップの掲示」「町のゴミ拾い作戦」「食品ロスを減らす献立の提案」「町の人との絆を広げるウェルビーイングフェスタ」「世界同時授業」「服のカプロジェクト」「WWF や子ども食

堂、能登半島地震復興への募金活動」そして、とっても楽しかった「五小SDGs フェスティバル」。ここで紹介しきれないほど、たくさんの取組をしてきました。

でも、私たちがどんなに頑張っても、この地球の危機を救うことなど夢物語だ、無駄かもしれないと、思ってしまうこともあるかもしれません。

でも、そういうときにこそ、前に進む勇気をくれる、ある漫画の登場人物のセリフと出会いました。

それは、悪の魔王を倒しに行く仲間たちの一人がふっともらした言葉です。魔王を倒しに行こうと急ぐ一行は、途中の村々で困っている人と何度も出会います。メンバーの一人は、その度に、困っている人を助け始めます。それは、村を襲う魔物から人々を守る勇ましい行動のこともあります。たいていは重い荷物を運んであげるなど、たわいもない行動でした。「こんなことをしている場合ではない、一刻も早く」とせかす仲間、この人物はこういうのです。

「きっとこんなことをしたって世界は変わらない。」

でも、ぼくは、目の前で困っている人を見捨てるつもりはないよ。」



そして、この一行こそが、何百年も、何千年も倒すことができなかった魔王を倒して、世界を変えてしまうのでした。

私たちの行動も、同じではないでしょうか。

こんなことをしたって世界は変わらないよ、というような小さな行動かもしれないけれど、「でも、自分は見ても見ぬふりはしないよ」「それが、自分にとって当たり前だから」と、その心が少しずつ広がっていったとき、その人々の心のつながりが、大きく世界を変える力になるのではないのでしょうか。

みんなひとつひとつ頑張って、今日まで思い出をつくり成長してきました。新しい学年、進学に向かって、「さあ、次の1年はこういう自分になっていくぞ、こういう年にしていくぞ」と決意を新たにしましょう。全ては自分の「心」からスタートします。今日は、3学期最後のまとめの日というだけでなく、今年1年間の自分の成長を振り返り、次へのスタートを切る日でもあります。周りの方々への感謝を忘れず、次への歩みを開始していきましょう。

春休みの間、風邪をひかないように、交通事故に気をつけて、元気に新しい年度を迎えましょう。